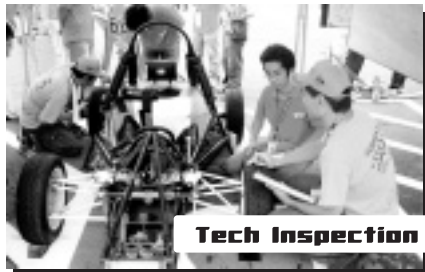


第3回ドキュメント

3rd Competition Results

9/6 [1st day]



① 8:30

② 17:30



9/7 [2nd day]



9/8 [3rd day]



① 7:30



① 12:00

① 15:00

① 18:00

第3回大会 (2005.9.6 - 9.9)

第3回大会は、2005年9月6～9日に富士スピードウェイ・モビリティで開催された。100を超える企業・団体からのスポンサーを得て、エントリー45チーム、当日の参加は海外1チームを含め、41チームとなった。参加者は大会スタッフ260名、チームメンバー860名、プレス関係者、一般見学者を含めると、1,800名を超える規模となった。

1日目は車検と、静的競技。初日のうちに21チームが車検を通過し上々の滑り出しとなった。静的競技では、全3種目のうちコストとプレゼンテーションで神奈川工科大学が1位を占めその強さを見せ付けた格好となった。2日目から動的競技を行う予定だったが、台風14号の影響で会場が暴風雨に襲われ、この日の競技は全て中止となった。各チームは宿舎に引き上げ明日からの動的競技の作戦を練ったり、車検で指摘された項目に修正を加えたりの時を過ごした。

9/9
[4th day]



Endurance



Design Final



Award



3日目から動的競技が開始。車検を通過したチームは、アクセラレーション・スキッドパッド・オートクロスへとチャレンジして行った。オートクロス上位チームは3日目にエンデュランス走行を行なえたが、2日目が中止となった影響で競技時間が短縮されたため、車検通過に時間がかかったチーム等は動的競技のエントリーに制約がかかった。

最終日はエンデュランスと、デザインファイナル。エンデュランスでは、果敢に攻めるチームが多く見られ、有力チームのリタイヤが目立った。

全種目でそつ無く得点を重ねた金沢大学が総合優勝となり、2位神奈川工科大学、3位国士舘大学と続いたが、1、2回大会と比べ、チームのレベルの向上は目を見張るものがあった。

狙い通りの成果を発揮できたチーム、来年に向けて決意を新たにしたチーム、他チームの部品提供や、修理スタッフのサポートでやっと車検が通過できたチーム、そして燃料系にトラブルを抱えたため、勇気を持って出走を断念したチーム・・・。

各チームに悲喜こもごもの出来事があったなか、大会は無事に幕を下ろした。



【1位】金沢大学



【2位】神奈川工科大学



【3位】国士舘大学

4位 芝浦工業大学, 5位 東京電機大学, 6位 日本大学理工学部, 7位 東海大学, 8位 横浜国立大学, 9位 名古屋大学, 10位 東京大学, 11位 武蔵工業大学, 12位 京都大学, 13位 立命館大学, 14位 宇都宮大学, 15位 金沢工業大学, 16位 上智大学, 17位 慶応義塾大学, 18位 名古屋工業大学, 19位 近畿大学理工学部(大阪), 20位 大同工業大学, 21位 東京理科大学, 22位 大阪大学, 23位 早稲田大学, 24位 千葉大学, 25位 静岡大学, 26位 蔚山(ウルサン)大学, 27位 名城大学, 28位 茨城大学, 29位 東京農工大学, 30位 明星大学, 31位 工学院大学, 32位 九州工業大学, 33位 神戸大学, 33位 岡山大学, 35位 同志社大学, 36位 信州大学, 37位 福井工業大学, 38位 高知工科大学, 39位 ホンダインターナショナルテクニカスクール, 40位 近畿大学工学部(広島), 41位 東北支部大学連合